

始良市農地利用最適化推進委員候補者の応募状況（中間公表）

【団体推薦（法人又は団体）】

No.	被推薦者（推薦を受ける者）								推薦者					
	氏 名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	推薦地域	農業委員 への推薦	組織の名称	代表者又は管理人の 役職・氏名	構成員	組織の目的	構成員の資格・要件	推薦の理由
1	新村秋弘	男	68	農業	昭和50年4月：国鉄小倉工場 入社 昭和62年3月：国鉄 退社 昭和62年4月：K S . K株式会社 入社 令和元年3月：K S . K株式会社 退社 令和4年4月1日～：思川土地改良区 理事	耕作面積：1ha 作目：水稻 農業従事日数：180日 農業所得額：100万円	始良	無	思川土地改良区	理事長 宮原千年	184人	農業生産の基盤の整備 及び保全を図り、農業の 生産性の向上、農業生産 の増大、消費者の需要に 即した農業生産の推進、 農業構造の改善及び農業 生産活動の継続的な実施 に資することを目的	思川土地改良区管轄内 に農地を所有する者、ま たは耕作者から構成され ている。	長年にわたって農業に従事されており、区域内の事情に非常に精通されて いる。また、当土地改良区理事としても精力的に活動されており、耕作者・地 域に貢献され適任と思われます為、推薦いたします。
2	松永政裕	男	77	農業	令和3年より漆地区協定者 （現）漆校区コミュニティ協議会会長	耕作面積：24a 作目：水稻 農業従事日数：250日	蒲生	無	漆地区集落協定	湯元 秀誠	52人	当地域は、特定農山村 法に指定されるなど、平 場地域と比べて生産条件 の格差が大きいことか ら、これを補正する取組 が必要である。農業生産 活動を継続し、多面的機 能の促進を図る。	中山間地域の集落に於 いて、農用地を維持・管 理していくため、農地の 範囲、面積、耕作者の参 加で、取組み事項を定 め、それを協定し、締結 する。	漆地区の農業従事者は高齢化が進み、生産活動等の継続、農用地の保全 が今後厳しいと考える。担い手の人材確保、担い手への農地の集積を図るこ とが急務であり、農地の円滑な運用を進めるには農地利用最適化推進委員 の確保が不可欠であることから漆地区集落協定にて推薦する。